



# 川島地区 社協だより

第25号  
発行日：令和6年8月  
川島地区社会福祉協議会  
地区社協だより編集委員

社協の各事業には、  
社協会費が使われています

支えて 支えられて  
フレイル予防にもしたい



会長 小島豊彦

川島地区社会福祉協議会の小島です。

毎年「社協会員の募集」にご協賛頂きありがとうございます。

川島地区社会福祉協議会では、皆様方の浄財をもとに『支えて 支えられて みんなが主役のまちづくり』のスローガンのもと活動しています。

川島地区社会福祉協議会では、夏休みには、保育園児・児童の小学校児童を対象に映写会（又は人形劇）等を催し、保育園児・児童にひと時の楽しみを提供しています。

また川島地区民生児童委員の協力を得てクラブサークル発表会の会場で、みたらし団子店を出店したり、一人住まいの高齢者のお宅に手作りのお弁当を配付し、また12月には今年古希を迎えられた方を対象に『古希の祝い』等を催しています。

またボランティアハウス、近隣ケアなど

の活動を援助しています。

多様性の時代で様々な会合を開催することが難しいですが、少しでもフレイル（虚弱）予防になるような活動を継続していきたいと思えます。

## 今年の事業・予算決まる



◆予算等が審議されました

5月22日に川島ライフデザインセンターで総会を開き、今年度の事業、予算

等を決めました。

事業は例年のふれあい交流事業、古希の集いなど、総予算は2百54万7千円です。

自治会が中心となつて三世交代交流事業を実施する場合、地区社協から助成金をお支払いします。実施前に申し出ください。各町で1事業です。

## 令和6年度 事業計画

月	事業	場所
4	代表自治会長への概要説明 役員会	川島市民サービスセンター
5	役員会 / 総会	川島会館 / 川島ライフデザインセンター
6	近隣ケア研修	川島ライフデザインセンター
7	地区社協だより発行	全世帯
8	ふれあい交流事業	川島ライフデザインセンター
9	役員会	川島ライフデザインセンター
10	古希対象者名簿調査	川島市民サービスセンター
11	配食サービス / 縁日	対象者家庭 / 川島健康福祉センター
12	古希・高齢者・介護者の集い	川島ライフデザインセンター
2	地区社協だより発行	全世帯
3	役員会 監査	川島ライフデザインセンター



令和6年度 役員

会長 小島豊彦  
 副会長 中園久義  
 理事 木村徹之 田中直通  
 川瀬敏巳 中野正勝  
 福手弘子 野田眞澄  
 原基久

会計 脇田美千広  
 監事 苅谷素宏 田中正明  
 福祉推進員 青井徳夫 川瀬智美  
 評議員 岸 洋司 豊田晶久  
 島田邦美 安藤順司  
 杉本直子 小島義則  
 岩田かね子 林雅則  
 倉知光子 鈴木芳男

評議員

野田多津子 川俣孝二  
 大石知恵子 水野香織  
 小島きよ子 小島ひろみ  
 苅谷マツ子 大山貢  
 横浜勝治 戸谷才二  
 横田育代

(敬称略)

令和6年度 予算

単位:円

科目	金額
地区交付金	430,000
メニュー事業助成金	906,000
地区運営費助成金	30,000
寄付金	0
雑収入	66
繰越金	1,180,934
合計	2,547,000

令和5年度 決算

単位:円

科目	金額
地区交付金	436,000
メニュー事業助成金	800,833
地区運営費助成金	30,000
寄付金	0
雑収入	10
繰越金	1,071,659
合計	2,338,502

単位:円

科目	金額
事務費	65,000
近隣ケア研修	30,000
福祉座談会	0
ボランティアハウス事業	432,000
ふれあい交流事業	150,000
機関紙発行	170,000
赤い羽根共同募金	250,000
食を通じた支援事業	115,000
人材発掘事業	0
支え合い支援事業	40,000
その他の事業(緑日)	60,000
助成金支出	258,000
予備費	997,000
合計	2,547,000

単位:円

科目	金額
事務費	58,488
近隣ケア研修	3,174
福祉座談会	4,118
ボランティアハウス事業	354,000
ふれあい交流事業	136,933
機関紙発行	138,000
赤い羽根共同募金	183,767
食を通じた支援事業	82,399
人材発掘事業	0
支え合い支援事業	20,000
その他の事業(緑日)	57,689
助成金支出	119,000
合計	1,157,568

AEDを学ぶ

6月22日に松倉と河田の近隣ケアグループを対象に近隣ケアグループ研修を行いました。

近年AEDの認知度が高まって設置場所も増えていきます。いざという時に役立つられるよう消防署員からAEDの使い方と心肺蘇生の仕方を学びました。

参加したあるグループ員は「TVで見たことはあるが初めて体験して参考になった。」「以前学んだことがあるが、忘れてしまっていたのでいい機会となりました。」と語っていました。



研修風景

川島の福祉の目指す姿

本会は、第5期(令和7～11年度)市社会福祉活動計画に掲載される各地区の「目指す姿」を、昨年実施したコミュニケーション会議を基に次のように提案しました。

『故郷の心と故郷の繋がりが「優しく、固く、いつまでも」続き、3つの健康づくりが継続していくことを目指します。』

(内容は、従来から川島に「住んでいる人も、新しく住む人もみんな」手を取りあつて、健全な「身体、頭、心」の健康づくりを続けていこうとするものです。)